

令和5年度第2回鶴岡市地域コミュニティ活性化推進委員会 グループ討議について

地域コミュニティの課題について、グループ討議によって、多様な視点からより多くの知見、見解を共有し、協働により課題とその解決策を検討いただきます。

結果は、今後の委員会の審議に生かすとともに、まち活通信など地域コミュニティへの周知の機会を通じて紹介し、市からの支援に関わる事項は今後の施策への反映を検討していきます。

1. 項 目

テーマ1 「地域コミュニティが果たしている役割」

地域コミュニティは、人口減少、高齢化、役員の担い手不足のほか多様な要因で将来的な存続について懸念されています。地域コミュニティの意義、必要性を考えるにあたり、その果たしている役割をふり返っていただきます。

テーマ2 「デジタルによる地域コミュニティの活性化」

デジタルツールは、活用によって作業等の効率化、省力化、事業の充実などが期待されます。地域コミュニティにおいて情報発信、事業への活用、連絡ツールへの活用の例が少しずつ増加しています。活用への手だてを検討いただきます。

2. 手 順

委員 3、4 人、進行役と支援役の事務局員で編成する 3 つのグループごとに、次のように進めます。後方に控える幹事、事務局にもお気軽にご質問ください。全体進行は武田真理子委員長です。

時間	内 容	備 考
テーマ1 「地域コミュニティが果たしている役割」		
5	①個人ワーク テーマについて考えていること、把握している状況など、次のような視点を参考に、一件ずつ付せんに書き込む。 ・これまで果たしてきた大事な役割 ・新型コロナ禍を経て変化したこと ・自身のコミュニティの自慢、工夫 ・その他、困りごと、疑問、課題	
19	②グループワーク ・付せんを説明して共有する。一人2分目安。 ・付せんをグルーピングして、それぞれに区分名を表示する。	説明は、付せんを大判用紙に貼りだしながら行う。
6 計 30	③発表 @2分×3グループ	発表者は各グループから代表して委員1名が行う。
5	休 憩	
テーマ2 「デジタルによる地域コミュニティの活性化」		
4	①個人ワーク テーマについての課題・現状を考えて付せんに書き込む	
8 4	②グループワーク ・付せんを説明して共有する。一人2分目安。 ・付せん(課題・現状)をグルーピングしたのち、解決策を検討する課題を選ぶ。	説明は、付せんを大判用紙に貼りだしながら行う。
5	③個人ワーク ・選択した課題の解決策を考えて付せんに書き込む。	
4 5	④グループワーク ・付せん(解決策)を説明して共有する。一人1分目安。 ・付せんをグルーピングして、それぞれに区分名を表示する。	
6 計 36	⑤発表 @2分×3グループ	発表者は各グループから代表して委員1名が行う。
総 括 武田委員長		